六　小　通　信

令和8年10月30日
11月号
小平市立小平第六小学校
校長　寺尾　千英

【学校教育目標】〇考え、行動する子（自立）〇共に学ぶ子（共生）

「ふれあい月間」によせて

校長　寺尾　千英

先日はお忙しい中、運動会にご来場いただき、誠にありがとうございました。子どもたちは保護者の皆様、地域の皆様からの温かいご声援を胸に、練習の成果を存分に発揮し、最後まで力いっぱい競技や演技をやり抜くことができました。今年度は子どもたちのアイデアを生かした新たな取組を盛り込みましたが、いただいた温かいご感想やご意見を励みに、次年度も「考え、行動する子　共に学ぶ子」を育む行事となるよう努めてまいります。



本校の教育目標に掲げている「考え、行動する子」が示す、自分で考え、判断し、行動することは、これからの子どもたちにとって大切な力のひとつです。そして、その力を発揮するためには、自分の思いを大切にするとともに、相手にも思いや考えがあることを忘れないことが肝要です。自分と異なる意見に耳を傾けたり、相手の気持ちを想像したりすること。時には自分の言動を振り返り、よりよい関わり方を考えること。こうした積み重ねが、誰もが安心して過ごせる学校につながります。

小平市の小中学校では、11 月を「ふれあい月間」として、いじめの防止に向けた取組を重点的に進めています。道徳の学習の中で改めて友達の大切さやいじめにつながる行為について考えたり、学級活動の中で心地よい関わり方について話し合ったりするなど、日々共に過ごす仲間たちとの関係を見つめ直すこともその取組の一つです。

子どもたちの様子を見ていると、一人ひとりのよさや違いが、学級や学校を豊かにしていることを感じます。興味のあることも、得意なことも、物事の捉え方も一人ひとり異なります。みんなが同じである必要はありません。それぞれが自分らしさを発揮し、互いのよさを認め合うことで、一人では生み出せない力が生まれてくるのだと思います。「ふれあい月間」の取組を通して、子どもたちに改めて伝えていきたいと考えています。

来る 11 月 13･14 日の学校公開日には、保護者・地域の皆様と子どもたちの様子についてお話しする場を設けています。子どもたちの成長を感じるうれしい出来事はもとより、日頃心配に思っていることや、子育ての中で困っていることなども、構えずにお話しできる場にしたいと考えています。当日は、ペアレントメンターの方にも参加していただく予定です。ぜひご参会ください。子どもたち一人ひとりのよさを大切にし、互いの違いを認め合えるようにしていくこと。また、子どもたちを見守る大人同士も思いや経験を分かち合いながら支え合うこと。そうしたつながりを大切にしながら、誰もが安心して自分らしく過ごせる学校を、保護者・地域の皆様とともに作っていきたいと思います。

11月は「ふれあい月間」です。

生活保健部

小平市では、6月・11 月・2月を「ふれあい月間」と位置付け、「いじめ」「自殺」「暴力行為」「不登校」等の未然防止やその対応についての取組に力を入れています。児童へのアンケートなどを活用し、「いじめ」についての授業を行います。今年度、2回目のふれあい月間です。これまでのことを振り返り、日々の悩みにも寄り添うよい機会としていきます。成長とともに、友達関係の変化や自己理解の部分で悩みや苦悩をかかえることもありますが、それも発達段階としては正常な成長です。その過程を順調に乗り越えていけるように、子どもたちを支えていければと思います。そのために、子どもたちの様子をよりしっかりと見ていき、ご家庭とも連携をとっていきたいと思います。ご協力をよろしくお願いいたします。